



《第60回日本透析医学会学術集会・総会にて》  
耐酸性カプセル入りビフィズス菌摂取による  
血液透析患者における便秘と血清リン値に与える影響を発表

【日時】2015年6月27日(土) 16:00-17:00 / 【会場】パシフィコ横浜(展示ホール 1F)

森下仁丹株式会社(本社:大阪市中央区、代表取締役社長:駒村純一)は、2015年6月26日(金)から6月28日(日)にパシフィコ横浜(神奈川県横浜市)で開催される「第60回日本透析医学会学術集会・総会」にて、耐酸性カプセル入りビフィズス菌の摂取による血液透析患者の便秘改善と血清リン値に与える影響に関する研究成果をポスター発表いたします。また、会期中は企業ブースにて展示を行います。

これまで森下仁丹では共同研究などで、耐酸性カプセル入りビフィズス菌の摂取による血液透析患者の血中リン値の低下や、腎不全ラットを用いた同カプセル製剤による血中リン低下作用機序についての研究を行ってきました。今回の研究成果により、同カプセルの摂取によって、血液透析患者における便秘や血清リン値に与える影響が明らかになりましたので、その結果をポスター発表いたします。

《「森下仁丹」発表概要》

- ◆日 時: 2015年6月27日(土)16:00-17:00
- ◆会 場: ポスター会場(パシフィコ横浜 展示ホール 1F)
- ◆セッション名: 一般演題 ポスター「薬剤 4」
- ◆演 題: 耐酸性カプセル入りビフィズス菌の摂取による血液透析患者の便秘改善と血清リン値に与える影響
- ◆発表者: 辻 義弘<sup>1,2)</sup>, 吉岡 健太郎<sup>1)</sup>, 河野 麻実子<sup>3)</sup>, 鈴木 尚紀<sup>1)</sup>, 田尻 伸弘<sup>1)</sup>, 人見 泰正<sup>1)</sup>, 加藤 かおり<sup>4)</sup>, 吉田 俊子<sup>4)</sup>, 水野(松本) 由子<sup>2)</sup>  
桃仁会病院 臨床工学部<sup>1)</sup>, 兵庫県立大学大学院 応用情報科学研究科<sup>2)</sup>, 森下仁丹(株)研究開発本部<sup>3)</sup>, 淀川キリスト教病院 腎臓内科<sup>4)</sup>
- ◆演題番号: P-2-589

★森下仁丹展示ブース

- ◆日 時: 2015年6月26日(金)～28日(日)
- ◆会 場: パシフィコ横浜 展示ホール BC、106 番
- ◆展示内容: 耐酸性カプセル入りビフィズス菌の摂取による血液透析患者の腸内環境に関する研究及び効果、血清リン値低下作用について紹介

《「第60回日本透析医学会学術集会・総会」概要》

- ◆日 時: 2015年6月26日(金)～28日(日)
- ◆会 場: パシフィコ横浜(神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1)
- ◆会 長: 新田 孝作(東京女子医科大学第四内科)
- ◆研究会テーマ: 医理工連携と透析医療

【リリースについてのお問合せ先】

森下仁丹株式会社 経営企画部 担当:磯部・本山 TEL:06-6761-1134 FAX:06-6761-8108  
共同PR株式会社 第六業務局 担当:長尾・広岡 TEL:03-3571-5236 FAX:03-3574-9364

